

# 令和元年度事業報告書・決算書

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

公益財団法人福島県観光物産交流協会

# 令和元年度事業報告

## I 事業概要

当協会は、国内外からの観光客の誘致促進、福島県産品の開発、育成、販路の拡大及び観光・物産関係施設の整備運営を行うなど、観光・物産振興の総合的・一体的な展開を図り、もって本県の地域経済社会の活性化と多様な交流の拡大及び観光立国の推進に寄与することを目的に事業を実施している。

令和元年度は、県や市町村、関係団体の事業と連携しながら、公益法人として各種事業を積極的に展開し、観光と物産の振興に努めた。

観光振興事業については、本県の強みである自然、温泉、歴史、そして日本酒を始めとする食、伝統工芸品などの魅力をいかし、地域連携DMOとして各観光関係団体等と連携しながら誘客促進に努めた。

国内誘客の推進については、本県の魅力を、ホームページや季刊観光情報誌等により積極的に情報発信するとともに、地域の課題を解決するため専門家派遣や滞在型コンテンツの開発のため人材育成事業を実施し、地域が主体となった観光地域づくりを進めた。

教育旅行については、教育旅行の訪問先として選ばれるよう、官民一体となったキャラバン活動や本県ならではの学習効果の高い教育素材を理解いただくため県外教員を対象としたモニターツアー等を行うとともに、県内で合宿を実施する県外の大学生・高校生等の合宿地としての魅力・誘致促進を図る目的で助成事業を実施した。

海外誘客については、外国人専門員による外国人目線での観光素材の掘り起こしや国別にニーズを把握しながら情報発信を行ったほか、台湾やタイなど海外におけるプロモーション活動を行うとともに、本県の旅行商品を造成する海外エージェントへの支援などに取り組んだ。また、受入体制強化として訪日外国人の主な情報収集源であるWEBコンテンツの多言語化及び主に飲食店を対象とした訪日外国人対応研修会の実施や多言語表記等の環境整備の支援を行った。

ホープツーリズムについては、教育旅行や企業を中心に、地域の関係と連携を深めたツアー造成・販売・催行を行うとともに、フィールドパートナーの育成事業を行った。

また、今年度新しい試みとして、インバウンド団体の受入を行い、参加者からの評価をいただくことができた。

県産品振興事業については、アンテナショップ（福島県観光物産館・日本橋ふくしま館）や物産展における優れた県産品の展示・販売、生産者の対面販売、各種企画催事の開催をはじめ、新たに開始した卸売事業等により県産品の普及啓発・販路拡大に努めたほか、流通業者や消費者からの情報を事業者・生産者へフィードバックすることにより、競争力の高い商品開発と効果的な販路開拓を支援した。

福島県観光物産館は、日本一のふくしまの酒や銘菓、工芸品の販売強化のため、商品の品揃えを充実拡大し、新聞折込チラシ等による話題商品の紹介を通して積極的に販売促進を図った。また、ふくしまラウンジのメニューの充実、切れ目のない飲食の提供により、多くのお客様に来館していただき開館以来最高の売上を上げることができた。

日本橋ふくしま館は、首都圏において、全国に誇る日本酒やくだものを始めとする優れた県産品の魅力や季節毎の観光情報、定住・二地域居住情報などの積極的な情報の提供と外国人の来館促進への取り組みにより、復興に向かう「ふくしまの今」を総合的・継続的に発信する情報拠点として、県産品の風評払拭と販路拡大、観光誘客を図った。

外販については、中央官庁をはじめ関係団体と連携したマルシェや各種イベント等に出店し、積極的に県産品の販売に取り組んだ。

物産展事業については、県単独物産展をはじめ、東北各県や全国の観光物産協会等との連携のもと、全国主要都市において観光物産展や地下催事等を開催し、本県の優れた県産品のPR及び販路拡大とともに観光客の誘致促進を図った。

県産品流通促進事業については、県産品の流通促進・販路拡大を図ることを目的に「B to B型」の卸売事業を行うとともに、取得した「全酒類卸売業免許」により県外を中心に積極的に営業活動を行い販売促進を図ったほか、海外オンラインショップ「FukushimaPrime（ふくしまプライム）」の管理運営を行い、県産品の海外への情報発信、販路開拓に取り組んだ。

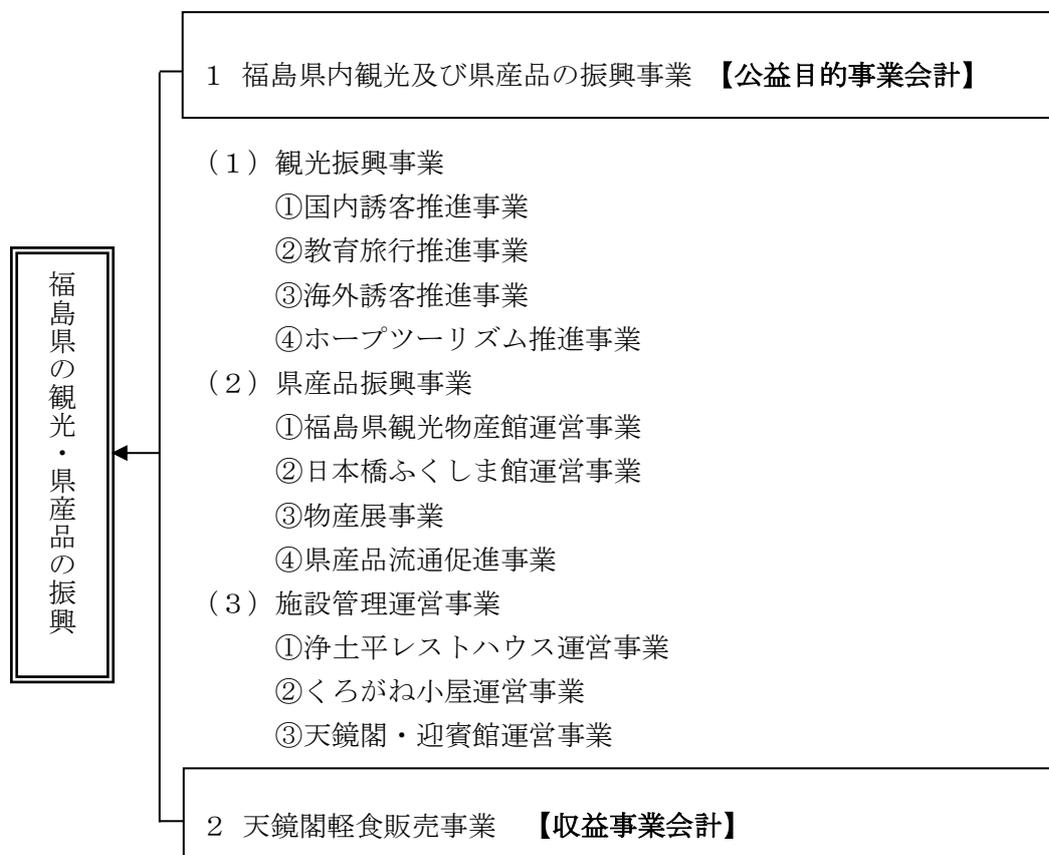
くろがね小屋運営事業は、施設の適切な管理運営、お客様の安全・安心を確保しつつサービスを提供するとともに、予定されていた建替え工事のスケジュールが延期となったことから、利用者等への通知を行った。

天鏡閣・迎賓館運営事業は、施設の適切な管理運営を行うとともに、積極的な宣伝・誘客活動により来館促進を図った。

人材の確保及び育成による組織運営の充実強化方針（平成29年3月28日策定）に基づき、会費収入の増を図るための会員募集、スキルアップのための研修への参加等に積極的に取り組んだ。

令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症によりホープツーリズムツアーの催行中止や物産展への出展・外販活動等の中止、各施設の来館者、利用者の減少に伴う売上減少等の影響を受けた。

## II 事業体系



## III 事業実績

### 1 福島県内観光及び県産品の振興事業

#### (1) 観光振興事業

本県への観光客の誘客に向けて、以下のとおり事業を行った。

特に、本県全域を対象とする地域連携DMOとして、各観光関係団体等と連携しながら、ホープツーリズムとインバウンドを柱とした事業を展開するとともに、地域が主体となった観光地域づくりを推進した。

#### ① 国内誘客推進事業

##### ア 観光地域づくり推進事業

「観光による地域づくり」を推進するため、地域の課題解決に向けた専門家の派遣及び人材育成講座を開催した。

##### (ア) 観光地づくりアドバイザー派遣事業

地域の課題解決に向け、意識醸成を目的とした講演会から行動に移させる実務者のワークショップまで、多様な形態に対応できる幅広い分野の専門家リストを整備し、申請団体へのヒアリングから最適となる専門家を提案・派遣した。派遣

の際は同行して状況を把握し、その後の活動への提案などのフォローも行った。

- ・アドバイザー派遣 申込団体13団体 延べ実施回数32回  
(前年度：15団体 34回)

#### (イ) オリパラナイトタイムカルチャー推進事業

オリパラに向け、地域主体によりナイトタイムエコノミー等の滞在型コンテンツの開発を行うとともに、観光誘客に向け、旅マエ・旅ナカの情報発信を行うことを目的としたデジタルマーケティングの知識やスキル習得などの現場における課題解決を目標に観光協会等を対象として、実践的な人材育成講座を開催した。

- ・参加団体 17団体 ・参加人数 延べ111名
- ・講座回数 全7回

※第3・4回は1泊2日の合宿形式の講座、第5・6回は1泊2日のコンテンツモニターを3回実施。

※当協会が主催する「福島県旅行商談会」において、受講団体（2団体）が各旅行会社と商談を実施した。

#### (ウ) 他機関との連携

地域連携DMOとして広域観光事業の実施主体である広域DMOの東北観光推進機構や観光コンテンツの担い手となる県内各地域DMO等との連携を強化した。

- ・観光客動態調査（県や各地域DMOと連携して実施）

地域連携DMOのKPI評価に必要な「観光地消費額」「来訪者満足度」等を調査。

①第1四半期 6月29日実施 ②第2四半期 8月24日実施

③第3四半期 10月26日実施 ④第4四半期 1月11日実施

- ・東北運輸局や東北観光推進機構が主催するDMO関連会議に参画するなど、県内各地域DMOとの情報交換等を行った。

### イ 「福が満開、福のしま。」福島県観光情報総合発信事業

本県観光情報の取りまとめや情報収集を行い、年間を通じた情報発信を行うため、ホームページ「ふくしまの旅」の管理運営及び季刊観光情報誌「ふくしまほんものの旅」を発行するとともに、県内外へのイベントに出展した。

- ・ホームページ「ふくしまの旅」

延べビュー数 22,694,930pv（前年度：19,864,799pv）

- ・季刊観光情報誌「ふくしまほんものの旅」

年3回発行（夏号、冬号、春号）

通常版各10万5千部、JR版各5万部 発行

- ・県内外のイベント出展

出展回数 延べ12回（下記「広域観光推進」に係る出展も含む。）

#### 【主なイベント】

- ・東北絆まつり（R1.6.1～2）JRA福島競馬場（福島市）
- ・二本松の菊人形（R1.10.20）霞ヶ城公園（二本松市）

- ・冬スポ！！WINTER SPORTS FESTA SEASON 19
    - (R1. 11. 8～10) さいたまスーパーアリーナ（埼玉県）
    - (R1. 11. 30～12. 1) 東京ビッグサイト青海展示棟（東京都）
  - ・福島観光物産展（R2. 2. 23）J R A東京競馬場（東京都）
  - ・福島県旅行商談会（R2. 2. 27）A P日本橋（東京都）
    - 旅行会社9社（24名）、県内団体12団体（38名）参加
  - ・広域観光推進
    - 広域観光の推進から本県への誘客に繋げるべく、東北中央道、5県ループ（高速道路による福島県、茨城県、栃木県、群馬県及び新潟県の連結）やダイヤモンドルート（福島県、茨城県、栃木県、東京都）などを活用し、ホームページによる情報発信やイベント出展を行った。
    - ・「5県ループ」ホームページ 延べビュー数 1, 786, 614pv  
(前年度：2, 590, 225pv)
    - ・県内外のイベント出展 延べ9回
- 【主なイベント】**
- ・2019 サマーフェスティバル（R1. 8. 1）海ほたるP A（千葉県木更津市）
  - ・第3回福島モーターサイクルフェスティバル（R1. 9. 22）  
エビスサーキット（二本松市）
  - ・ふくしま大交流フェスタ 2019（R1. 12. 21）東京国際フォーラム（東京都）

## ウ 復興ツアー受入体制整備事業

被災地の視察希望者と現地の受入を円滑に行うため、観光復興情報の提供や紹介などのワンストップ窓口の運営を行うとともに、教育旅行の誘致や旅行会社への働き掛け等を総合的に行い、復興ツーリズムの推進を図った。

- ・問い合わせ件数 552件 (前年度 731件)
- ・マッチング件数 143件 (前年度 210件)
- ・マッチング総人数 6, 907人 (前年度 11, 490人)

## エ M I C E誘致促進事業

県の「コンベンション開催支援事業」の事務局を受託運営するとともに、県内のコンベンション団体と連携し、大・中規模の国内及び国際コンベンションの誘致に向け首都圏での営業活動や展示会への出展を行った。

- ・受付件数 37件 延べ宿泊者数 9, 962人泊  
(前年度：受付件数33件、延べ宿泊者数15, 840人泊)
- ・首都圏への営業活動
  - ①9月11日～12日 郡山コンベンションビューローと連携して実施。  
延べ13団体（学会、業界団体）を訪問。
  - ②2月26日 第29回国際M I C Eエキスポ I M E 2020  
いわき市と合同でブース出展。

## オ 登山・トレッキングツーリズム推進事業

本県の魅力ある山を活用したツーリズムを展開し、交流人口を増加させるため、登山のみならず周辺観光も含めた情報発信を行うとともに、トレッキング教室の開催や受入体制整備を行った。

### (ア) トレッキング教室

震災後閉じこもりがちな被災者を対象に、気軽に自然に触れ、楽しみながら体と心の健康維持・増進を図るとともに、トレッキング愛好者の裾野を広げた。

- ・開催回数 3回 延べ参加者数 22名

(第1回 高柴山、第2回 五色沼、第3回 安達太良山)

### (イ) 受入体制整備

気軽に登山を楽しんでもらうために、山近隣の宿泊施設等に登山者向けサービス(荷物預かりや割引)の拡充を図り、これら協力施設等のグーグルマップへの写真掲載などの情報を発信した。

- ・協力施設総数 76施設

## カ 首都圏情報発信拠点を活用した風評払拭対策事業

日本橋ふくしま館を拠点として、首都圏から本県への誘客促進を目的に、イベントの開催や館内装飾等を実施した。

- ・日本橋ふくしま館でのイベント実施回数 4回
  - 「桃まつり」(R1. 8. 2～5) 来館者数 4,272名
  - 「フルーツフェア」(R1. 9. 26～28) 来館者数 4,457名
  - 「2020新春初売り」(R2. 1. 2～3) 来館者数 3,484名
  - 「ミデッテ桜まつり」(R2. 3. 20～22) 来館者数 3,433名
- ・館内ディスプレイの装飾改修 3回

## キ 就航先誘客強化特別事業

### (ア) 現地PR広報事業

福島空港の国内就航先である北海道・関西において、本県の観光及び福島空港利活用PR等を実施した。

#### 【主なイベント】

- ・ツーリズム EXPO ジャパン 2019 (R1. 10. 27) インテックス大阪 (大阪府)
- ・同志社大学クローバー祭 (R1. 11. 2～3) 同志社大学京田辺キャンパス (京都府)
- ・ふくしまプライド in 北海道・冬 (R2. 1. 17～18) 札幌駅前通地下空間 (北海道)

### (イ) 就航先用季刊情報紙制作

季刊情報誌の就航先版を作成し、就航先での本県のイメージアップを図り、福島空港を利用しての観光誘客を行った。

- ・ふくしまほんものの旅 就航先版 年3回発行 (夏号、冬号、春号)  
各5,000部 発行

## ク 福島県周遊観光支援事業（ふっこう割事業）

台風 19 号により落ち込んだ旅行需要の回復を図るための支援事業を行った。

（1 人 1 泊あたり 5 千円の支援。）

- ・国内 延べ宿泊者 34,069 人泊（支援金額合計 170,345 千円）
- ・海外 延べ宿泊者 10,234 人泊（支援金額合計 51,170 千円）
- ・合計 延べ宿泊者 44,303 人泊（支援金額合計 221,515 千円）

## ② 教育旅行推進事業

### ア 教育旅行誘致促進事業

本県の教育旅行の再生を図るため、官民一体となった誘致キャラバン活動を行うとともに、ホームページを通じた本県現状の理解促進のための情報発信や来県校から情報収集を行った。

（ア）教育旅行・合宿誘致キャラバン実施状況

- ・実施回数 9 回（九州、東京、北海道、関西、山形、新潟、栃木・茨城、埼玉、千葉）
- ・訪問件数 988 箇所 延べ参加者 127 名（51 班）  
（前年度 実施 10 回、訪問 943 箇所、参加者 142 名）

NO	訪問先	期 間	班・体制	小学	中学	高校	大学	教委	マスコミ	AGT	合計
1	九州	5/28～31	5 班 10 名	0	10	72	0	6	6	31	125
2	東京	6/25～28	8 班 24 名	5	48	20	37	7	0	43	160
3	北海道	7/9～12	3 班 6 名	0	48	3	0	2	2	17	72
4	関西	10/1～4	4 班 10 名	0	6	53	0	6	1	29	95
5	山形	10/17～18	1 班 2 名	0	0	13	3	0	0	1	17
6	新潟	11/13～15	6 班 14 名	50	0	22	7	6	1	11	97
7	栃木・茨城	12/4～6	9 班 20 名	0	77	20	8	21	2	18	146
8	埼玉	12/11～13	9 班 24 名	71	24	23	8	20	0	20	166
9	千葉	2/5～7	6 班 17 名	12	37	30	8	11	0	12	110
	合計		51 班 127 名	138	250	256	71	79	12	182	988

※No. 5 は協会が単独実施した合宿キャラバン

※No. 7 は台風の影響で 10 月から 12 月へ変更して実施

※中高一貫校も一部含む

（イ）教育旅行ワンストップ窓口対応

県外からの学校や旅行会社からの教育旅行の資料請求をはじめ、様々な問い合わせに、本県への教育旅行の促進をはかる総合受入窓口として対応した。

- ・ワンストップ窓口対応件数 303 件

（ウ）教育旅行入込調査の実施

平成 30 年度教育旅行入込に関する調査を福島県と連携して行った。

- ・調査対象施設／団体 623件
- ・調査協力施設／団体 530件（回答率85.1%）
- ・延べ宿泊者数 517,820人泊（前年度488,298人泊）  
※前年度比106.0%、平成21年度比72.9%
- ・学校数 7,047校（前年度6,850校）  
※前年度比102.9%、平成21年度比89.0%

(エ) 「ふくしま教育旅行」ホームページ運営管理

ホームページ「ふくしま教育旅行」により体験プログラム、各施設の案内、モデルコース及び体験者の声等の教育旅行に関する本県ならではの学習効果の高い魅力ある情報発信を積極的に行った。

- ・アクセス件数 828,053件（前年度596,265件）
- ・教育旅行関連施設データの情報更新（随時）
- ・ホームページ情報発信件数 32件

(オ) 教育旅行実施校への取材活動とメルマガの配信

県内での教育旅行実施校の活動状況を通じた事例や教育旅行に関する情報をメールマガジンとして編集し、全国の小中高校、旅行会社等へ配信した。

- ・来県校受入の取材活動等 13件
- ・教育旅行関係者へのメールマガジン/1回発行（発信数46,833件）

(カ) 東北観光推進機構セミナー等へ参加し情報発信活動の実施

各団体が主催するセミナー等において福島の現状と本県ならではの震災学習プログラム等の説明を行うため、積極的に参加した。

- ・参加回数 6回
  - 7月 東京都2回（東北観光推進機構主催 教育旅行セミナー）  
（全国修学旅行研究協会主催 教育旅行研究大会）
  - 北海道1回（東北観光推進機構主催 教育旅行セミナー）
  - 8月 東京都1回（日本修学旅行協会主催 教育旅行セミナー）
  - 9月 大阪府1回（東北観光推進機構主催 教育旅行セミナー）
  - 12月 福島県1回（東北観光推進機構主催 旅行会社現地視察商談会）

(キ) 教育旅行誘致セミナー及び研修会の開催

- ・（11/29開催）福島県教育旅行プログラムに係る研修会
- ・（3/17※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）  
2020福島県教育旅行プログラム×SDGsセミナー

## イ 合宿誘致・交流促進事業

(ア) 合宿助成

本県に文化・スポーツ合宿を誘致するため、県外の中中学生から大学生を対象に、県内で2泊以上宿泊し、延べ泊数70人泊以上（冬季は30人泊以上）の合宿を

実施した団体へ助成を行った。

- ・助成団体数 214団体（前年度 208団体）  
（夏）173団体（前年度 150団体）、（冬）41団体（前年度 58団体）
  - ・延べ宿泊者数 34,557人泊（前年度 33,886人泊）  
（夏）30,872泊（前年度 29,291人泊）、  
（冬）3,685人泊（前年度 4,595人泊）
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、取消が発生した。  
【冬合宿中止（申請後中止となったもの）】  
17団体・延べ宿泊者数 1,393人泊

#### （イ）合宿誘致魅力発信

助成制度の周知や本県での多種多様な合宿の魅力をもPRするため、県外において合宿誘致キャラバンを実施するとともに、本県で合宿を実施した団体取材し、合宿地としての魅力をホームページ等で紹介を行った。

- ・合宿誘致キャラバンの実施  
教育旅行誘致キャラバンと連携し首都圏を中心に実施した（7回）。
- ・合宿助成制度のPRチラシ・ポスターの作成  
チラシ 25,000枚（夏20,000枚、冬5,000枚）  
ポスター 50枚（夏のみ）

### ウ 教育旅行魅力発信強化事業

県外の教育旅行関係者を対象としたモニターツアーを実施し、会津エリアの歴史伝統文化体験や裏磐梯・猪苗代自然環境学習、農家民泊等の体験活動を理解していただくとともに、相双・いわきエリアを中心とした震災学習などの本県ならではの学習効果の高いホープツーリズムについても体験していただいた。

- ・催行5回実施 延べ参加者 63名（首都圏2回、関西、九州、北海道）  
※北海道は台風の影響で10月から1月へ変更して実施

### エ 教育旅行推進委員会の運営

教育旅行推進委員会の開催を通して、委員から日頃の教育旅行誘致促進に関する取組や地域の生きた情報を共有することで、県内全域での教育旅行誘致促進を図った。

- ・委員14名
- ・委員会開催 第1回（5/12）、第2回（11/29）、第3回（3/26）  
（第3回については新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面にて事業進捗を報告）
- ・臨時開催  
「福島県ならではの教育旅行プログラム開発」に係る意見交換（9/13）
- ・「福島県教育旅行プログラムに係る研修会」（11/29）

## ③ 海外誘客推進事業

### ア 海外情報発信力強化事業

多言語ホームページ・SNSや海外旅行博等を通じた海外旅行エージェント・マス

コミ等への本県の正確な情報発信や受入をサポートするなど、外国人観光客の誘客、観光復興を図った。

(ア) 多言語HPの作成・管理

各ターゲットに対応したモデルコースを掲載し、情報発信した。

・多言語HP ビュー数 940,959pv

※ビュー数の内訳

英語 418,030pv (前年度 622,810pv)

繁体 208,373pv (前年度 208,621pv)

簡体 195,915pv

韓国 147,187pv

(イ) 外国人観光客への定期的な観光情報の提供

HPやSNS（フェイスブック）等を用い、本県の観光情報等を定期的に配信するとともに、海外誘客専門員によるブログ、インスタグラム等による情報発信を行った。

・HP 25回 (前年度22回)

・フェイスブック 109回 (前年度54回)

・ブログ 15回 (前年度9回)

・インスタグラム及びタンブラー 320回 (前年度78回)

(ウ) 主要市場におけるプロモーション

台湾、タイ及びアセアンでは、県と連携して現地旅行博に出展し個人旅行者向けの情報提供を行うとともに、現地商談会や現地旅行会社訪問に参加し、最新の情報を提供した。また、招請事業で新たな福島魅力を発信した。

・実施回数 14回

旅行博 台湾 3回、タイ 1回

商談会 台湾 4回、タイ 2回

現地旅行会社訪問 台湾 2回、タイ 1回、インドネシア 1回

(エ) 海外旅行エージェント・マスコミ等への情報提供と受入サポート

海外の旅行会社等へ本県の観光関連情報を提供するため、ニュースレター「福島通信」を制作し、情報発信を行った。また、本県が招聘した事業を始め、国、関係団体、民間事業者等との連携事業により、本県を訪れた旅行関係者、旅行団体、ブロガー等への同行とウエルカム活動を実施するとともに、首都圏旅行会社（ランドオペレーター）への訪問活動を行った。

・福島通信発行 4回 旅行会社 753社

・オーストラリアファムトリップ 2回 6名

・首都圏旅行会社（ランドオペレーター）訪問 1回 訪問社数 33社

（国際観光推進委員 4班 9名体制）

## イ 旅行商品造成支援事業

台湾、韓国及びアセアン、オセアニア諸国を核とした旅行商品を開発・企画する旅行エージェント等に対し、商品造成の支援を行った。

- ・台湾 35社 165件 延べ宿泊者数 8,222人泊 (前年度 5,646人泊)
- ・タイ 13社 63件 延べ宿泊者数 3,390人泊 (前年度 1,717人泊)
- ・ベトナム 2社 7件 延べ宿泊者数 519人泊 (前年度 2,811人泊)
- ・韓国 1社 7件 延べ宿泊者数 142人泊 (前年度 157人泊)

## ウ 海外広域連携誘客促進事業 (補助金 1名あたり 15,000円)

外国人観光客の発着拠点となっている東京を起点とし、本県と栃木県、茨城県の魅力ある観光地を結んだ「ダイヤモンドルート」を活用した本県の認知度向上と誘客促進を図るため「ダイヤモンドルート」を含む旅行商品を開発・企画する旅行エージェント等に対し、商品造成の支援を行った。

- ・台湾 3社 3件 延べ宿泊者数 60人泊 (前年度 1,076人泊)
- ・ベトナム 3社 8件 延べ宿泊者数 1,139人泊 (前年度 2,715人泊)

## エ インバウンドデジタルマーケティングパッケージ ハード整備事業

訪日外国人の受入について、主な情報収集源であるWEBコンテンツの多言語化や接続環境(Wi-Fi)等の受入体制の支援を行った。

- ・HPの多言語化 4件 (前年度 7件)
- ・案内板の多言語化 26件 (前年度 8件)
- ・Wi-Fi設置 7件 (前年度 12件)
- ・その他受入促進環境整備 4件 (前年度 5件)

## オ 国際教育旅行誘致促進事業

東アジア(台湾)現地における商談会及びセミナー参加や教育旅行関係者を本県に招聘して、本県の正しい情報や教育旅行素材のPRなどを行い、また招請者へのフォローアップも実施し、国際教育旅行の誘致を図った。

- ・ビジットジャパン台湾訪日教育旅行促進 現地説明会  
実施日 令和元年6月11日～13日  
場所 台湾：台北市、台中市、高雄市
- ・台湾訪日教育旅行促進事業 現地セミナー  
実施日 令和元年6月11日～13日  
場所 台湾：宜蘭県
- ・ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業・日台教育旅行交流会  
実施日 令和元年10月29日～11月2日  
(うち福島県行程 令和元年10月31日～11月2日)  
場所 東京で全体交流会後、南東北3県へ  
参加者 南東北3県招請者 台湾教育関係者6名
- ・東アジア地域教育旅行関係者招請事業  
実施日 令和2年1月19日～1月24日

- 場 所 福島県内  
参 加 者 台湾教育関係者 8 名
- ・フォローアップ事業
- 実 施 日 令和 2 年 1 月 1 9 日～1 月 2 4 日  
場 所 台湾  
訪 問 先 ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業で招請した  
台湾教育関係者 6 名（台湾国際教育旅行連盟を含む）- ・国際教育旅行受入支援事業  
受入支援 1 校、4 1 名（前年度 3 校、1 6 7 名）

#### カ DMO海外誘客強化事業

訪日外国人の受入体制を強化するため、飲食店等を対象とした訪日外国人（食事制限）対応研修会を開催、また多言語表記等の整備を促進した。

##### （ア）訪日外国人対応研修会

- ・実施回数 3 回（いわき、郡山、会津若松）
- ・延べ参加者 9 0 名（飲食事業者等）

##### （イ）Web 翻訳サービス

旅館・ホテル、レストランなどの案内表記やメニュー、説明文などをウェブサイトですぐに翻訳できるサービスを提供した。

- ・対応件数 5 8 件

#### キ 福島県 MICE 誘致に係るエクスカージョン誘客促進事業

「都市間連携による M I C E 誘致の推進に係る基本協定」に基づき東京都内で開催された M I C E に伴うエクスカージョンを本県に誘致するためのモデルコースを調査及び提案を行った。併せてその営業ツールを作成した。

- ・エクスカージョンモデルコースを 1 1 コース作成
- ・営業リーフレット 5 0 0 部制作

#### ク 国際観光推進委員会の運営

- ・委員 1 5 名（今年度 1 名追加委嘱）
- ・委員会開催日 第 1 回 令和元年 5 月 2 2 日  
第 2 回 令和元年 1 0 月 1 6 日  
第 3 回 令和 2 年 3 月 1 6 日※新型コロナウイルス感染拡大  
防止のため書面会議にて実施。

#### ④ホープツーリズム推進事業

##### ア ホープツーリズム推進事業

福島でしかできないホープツーリズムを核とした県内観光復興の推進を図った。

引き続き地域の受入環境充実のため、人材育成（フィールドパートナーやヒューマン等）やコンテンツの磨き上げを行うとともに、商標利用の仕組みづくりや旅行会社専用ホームページの開設などを通じて各旅行会社との連携を進め、ホープツーリズム

の利用を広げた。

(ア) 専用 HP やパンフレット等による情報発信

- ・ホームページやパンフレット、ツアーチラシによる発信、営業活動を行った。
- ・ホームページ（日本語版、英語版）を改修し、日本語版ホームページ内に、旅行会社（AGT）専用の情報閲覧システムを新たに構築した。

(イ) ツアー（モニター含む）の催行（旅行業第2種登録）

教育旅行、企業研修、一般、インバウンドとその対象に合わせて、モニターを含むツアーを催行した。

（福島県知事登録 旅行業2-362号、平成29年6月20日登録）

※詳細は「イ ホープツーリズムモニター事業・ツアー販売事業」に掲載。

- ・実施件数：（協会関与分）46件、（ホープツーリズム件数）45件

※トレッキング事業等を除き、協会以外実施を含む

（参考）

新型コロナウイルス感染症で中止になった件数(3/1-31)：11件204名

(ウ) フィールドパートナーの育成

当協会が催行するツアーへ同行し、ホープツーリズムのツアーをアテンドできる人材の育成を行った。

- ・ツアー同行回数 3回 延べ参加者数 5名

(エ) 旅行エージェントによる販売を進めるための営業強化

- ・ふくしま七転び八起き観光キャラバン

令和元年11月6日～11月7日 都内各旅行会社を訪問。

- ・令和元年度福島県旅行商談会

令和2年2月27日 都内旅行会社へ説明を行うとともに個別面談を実施。

## イ ホープツーリズムモニター事業・ツアー販売事業

ターゲットを「教育旅行」、「企業等研修」、「インバウンド」、「個人」として継続した。モニター事業ではモデルコースづくりを進め、ホームページや事例集等による情報発信やこれまでの実施学校・団体等への提案を通じて、ツアー販売を進めた。

特に、教育旅行では県外のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）、SGH（スーパーグローバルハイスクール）、SPH（スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール）指定校や学習意欲が高い学校をターゲットにブランディング化を進めるとともに、各旅行会社が学校向け提案の素材としてホープツーリズムを取り入れられるよう働きかけを行った。インバウンド(個人向け)については、福島復興局事業により他社と連携して実施した。

- ・ツアー催行総数 (協会関与分) 46件 1,004名  
(ホープツーリズム件数) 45件 948名 ※トレッキング事業等を除き、協会以外実施を含む

- ・モニターツアー17件、467名 (前年度 24件、461名)

※企業研修プログラム(本田技研工業等)、東京都進学指導重点校6校モニターツアー、教員を対象としたモニターツアー等

- ・ ツアー 29 件、537 名（前年度 29 件、748 名）  
 ※滋賀県町村会、中央大学附属中学校・高等学校、ホープツーリズム海外誘客事業（福島復興局事業）等  
 （参考）
- ・ 新型コロナウイルス感染症によりツアーを中止した件数(3/1-31)  
 11 件 204 名
- ・ 営業実績  
 訪問件数 33 校（関東 22 校、関西 11 校）、訪問回数 49 回
- ・ 県外 SSH、SGH、SPH 指定校の取扱  
 SSH 指定校 4 校、SGH 指定校 2 校、SPH 指定校 1 校 計 7 校の取扱

【内訳】

（下段は前年度）

	一般		教育旅行		インバウンド*		合計	
	本数	人数	本数	人数	本数	人数	本数	人数
モニターツアー	6 (15)	148 (258)	9 (7)	307 (150)	2 (2)	12 (35)	17 (24)	467 (461)
ツアー	10 (13)	143 (297)	14 (16)	338 (451)	5 (0)	56 (0)	29 (29)	537 (748)

（２）県産品振興事業

① 福島県観光物産館運営事業

常設の展示・販売を行うとともに、ふくしまの酒飲み比べフェア、開館 16 周年フェア、名人展等の主催イベント、市町村関連のイベント、生産者の対面販売を中心とする各種企画催事を開催した。

各コーナーにおいて、商品構成を充実拡大して販売商品の品揃えを豊富にするとともに、新聞折込チラシによる話題商品の紹介、ふくしまラウンジにおける新メニューの提供、飲食コーナーでの切れ目のない飲食の提供などにより、観光物産館オープン以来最高の売上となった。

【展示状況】	出品者数	830 社	展示点数	約 4,000 点
【販売状況】	売上額（税抜）	658,740 千円	（前年度比	119.3%）
	販売点数	880,022 点	（前年度比	131.7%）
	来館者数	618,771 人	（前年度比	110.4%）
	購買者数	292,282 人	（前年度比	129.6%）

〔新型コロナウイルス感染症の影響：令和 2 年 3 月度〕

売上額（税抜）	50,060 千円	（前年度比	86.3%）
販売点数	62,811 点	（前年度比	89.7%）
来館者数	40,931 人	（前年度比	76.9%）
購買者数	21,175 人	（前年度比	90.6%）

## 【大阪サテライトショップ】

売上額（税抜） 6, 573千円（酒：6, 149千円、食品：424千円）

### ア 自主企画イベント、県内各地域催事等の開催

- ・金賞受賞酒飲み比べフェア（① 5/17～6/15、② 7/5～7/19）
- ・ニットフェアとうまいもの市（春 5/24～5/25、冬 12/13～12/15）
- ・16周年フェア（7/20～7/28）
- ・新春初売りフェア（1/1～1/5）
- ・名人展（3/14～3/15）
- ・県北まるごと物産展（12/6～12/7）
- ・そうそう美食フェア（1/25～1/26）
- ・奥会津ブランドフェア（2/29～3/1）

### イ オリジナル商品の開発

- ・お酒 「ふくしまゆめのかおり純米大吟醸 720 ml」  
「純米吟醸原酒ふくしま春空（はるたか） 720 ml」
- ・ワイン 「ふくしまのワイン春空（はるぞら）」
- ・地ビール「ゆず地ビール 330 ml」
- ・お菓子 「桃タルト、桃アンサンド」  
「ロールケーキ あや香、はる香」  
「桃のパウンドケーキ」

### ウ ファンクラブ会員の募集

- ・会員数 3, 432人（令和元年度加入者数 903人）  
ファンクラブ交流会の開催を令和2年3月16日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

### エ 新商品・イベント企画等の情報発信

チラシの新聞折り込みを月2回実施したほか、フェイスブック、ホームページ等で最新情報を発信し来館促進を図った。

### オ パブリシティを活用した効果的なPR

マスコミに、催事企画・新商品等の話題を提供し積極的に情報発信を行った。

### カ 事業者・生産者への助言・情報のフィードバック

講演会、研修会、セミナー等に参加し、新商品の開発や普及宣伝、販路開拓・拡大に取り組む事業者等に対して指導・助言などを行うとともに、流通業者や消費者からの情報をフィードバックすることにより、競争力の高い商品開発と効果的な販路開拓を支援した。

- 〔主な講習会等〕
- ・福島市食品加工産業創出研究会
  - ・「相馬ブランド」認証審査会

- ・「新しい東北」官民連携推進協議会
- ・アグリチャレンジ支援事業選考委員会 など

#### キ 包装紙等のデザイン一新

包装紙・手提げ紙袋・レジ袋のデザインを著名な切り絵画家久保修氏に依頼し、県内7方部の代表的な風景を切り絵で表し、購入者の好感を醸成するとともに県内の観光PRを図ることとした。

完成した切り絵は、福島県知事へ贈呈された。（令和2年2月21日）

令和2年6月から、新デザインの包装紙等の使用を開始する。

##### ・デザインの風景

県北地域	……	吾妻小富士（吾妻の雪うさぎ）			
県中地域	……	三春の滝桜	県南地域	……	白河だるま市
会津地域	……	鶴ヶ城	南会津地域	……	大内宿
相双地域	……	相馬野馬追	いわき地域	……	塩屋崎灯台

#### ク 観光PR

物産と観光の連携を深めるため、観光パンフレットの設置、観光ポスターの掲示のほか、来館者の求めに応じ県内観光の案内を実施した。

#### ケ 特定施設県産品選定委員会

特定施設（福島県観光物産館、日本橋ふくしま館）における取扱商品を選定するために「特定施設県産品選定委員会」を開催し、新たに265品目を選定した。

なお、タイムリーかつ柔軟な商品の取り扱いを実現できるよう、令和元年度より第三者委員から協会内部職員による委員構成に変更した。

## ② 日本橋ふくしま館運営事業

首都圏における風評払拭・風化防止の最前線として、優れた県産品の展示・販売や生産者による対面販売、県内市町村等による各種催事企画を通じて、県産品の安全・安心や県内の震災後の復興状況、観光情報、定住・二地域居住情報等の総合的な情報発信を行い、県産品の販売促進・販路拡大、観光誘客を図った。

【展示状況】	出品者数	600社	展示点数	約2,500点
【販売状況】	売上額（税抜）	405,120千円	（前年度比	98.5%）
	店舗	305,721千円	（前年度比	97.5%）
	外販	99,399千円	（前年度比	101.7%）
	販売点数(店舗)	565,065点	（前年度比	93.6%）
	来館者数(店舗)	388,135人	（前年度比	98.3%）
	購買者数(店舗)	230,853人	（前年度比	100.5%）

〔新型コロナウイルス感染症の影響：令和2年3月度〕

売上額（税抜）	22,644千円	（前年度比	60.6%）
---------	----------	-------	--------

店舗	21,595千円	(前年度比	77.0%)
外販	1,049千円	(前年度比	11.3%)
販売点数(店舗)	43,289点	(前年度比	80.9%)
来館者数(店舗)	26,008人	(前年度比	77.5%)
購買者数(店舗)	17,885人	(前年度比	89.2%)
※外販中止件数24件			

ア 自主イベント・キャンペーン等の実施

- ・「福の日」イベント（毎月29日開催）
- ・5周年記念フェア（4/12～4/16）
- ・金賞受賞酒飲み比べフェア（① 5/17～6/6、② 6/7～6/20）
- ・200万人達成大感謝祭フェア（6/22～6/23）
- ・ミデッテ桜まつり（3/20～3/22）
- ・フルーツ王国 ポイントシールキャンペーン

年間を通して果物の購入者にシールを配布し、温泉旅行の抽選を行った。

イ 新規顧客やリピーター増に向けた取り組み

- ・グルメサイト「Retty」への参加（9月～）
- ・日本橋地域イベントへの参加  
日本橋桜フェスティバル（3/15～4/5）  
スタンプラリー（夏休み大江戸日本橋めぐり ほか）
- ・新たに建設された近隣商業ビルでの周知活動

「コレド室町テラス」のオープン（9月27日）に伴い人の流れが増加したことにより、館内企画催事開催中に店舗前でチラシ配布を行う等、新規顧客獲得に向け周知を図った。

ウ 外販活動

本県の復興支援のため中央官庁や東京都など関係機関・団体、企業等と連携して実施するマルシェや各種イベント等に出店し、積極的に県産品の販売に取り組んだ。

- ・実績 154箇所、延べ 228日  
（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため24件の外販が中止）
- ・新規外販 ㈱アトックス、㈱トッパンフォームズ ほか  
（ふくしま応援企業ネットワークの活用）

エ ミデッテファンクラブ会員の募集

- ・会員数 2,064人（令和元年度加入者数 146人）
- ・メールマガジンの配信 月2回（第2・4木曜日）

オ 情報発信・広報活動

月1回「MIDETTEだより」を発行し、催事やキャンペーン等の案内を行うとともに、フェイスブック、ホームページ等で最新情報を発信し来館促進を図った。

カ 定住・二地域居住に関する情報発信や観光業務の充実

本県への定住・二地域居住を推進するため、首都圏からの移住に関する情報の発信や相談業務等を行うとともに、来館者に対し本県の観光案内を実施し誘客を図った。

- ・定住・二地域居住相談 12件
- ・観光相談 442件

### ③ 物産展事業

本県の優良製品のPR及び販路拡大とともに、本県観光のPRを行い観光客の誘致促進を図るため県単物産展を開催したほか、東北各県や全国の観光物産協会等と連携のもと、全国主要都市において観光物産展及び地下催事等を開催し、風評・風化対策に寄与するとともに、観光誘客を図った。

- ・「第32回 福島物産展（渋谷展）」

開催場所 東急百貨店 渋谷駅・東横店

開催期間 令和2年2月27日～3月3日

出展業者 41社

売上額 33,510千円（前年対比 85.6%）

\* 東急百貨店建替えのため最後の物産展となった。

- ・「第25回 福島県の物産展」

開催場所 福屋八丁堀品店（広島市）

開催期間 令和2年2月6日～2月13日

出展業者 35社

売上額 28,302千円（前年対比 84.0%）

- ・その他の主催物産展

開催回数 79回

出展業者 延べ 507社

売上額 322,379千円（前年対比 101.9%）

\* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5件の物産展が中止となった。

### ④ 県産品流通促進事業

ア 卸売（問屋機能）事業

単独では販売力の弱い事業者の販路開拓を支援し、県産品の流通促進・拡大を図るため、展示・商談会等で開拓した小売店等への積極的な営業活動を行うことにより、BtoB型（企業間取引）の卸売事業を行った。

また、新たに取得した「全酒類卸売業免許」を活用し物産展へ出展したほか、県外を中心に営業活動を行い販売促進を図った。

- ・商品登録

登録事業者 189社

登録商品 1,015点

- ・営業訪問 45社

- ・商談会出展

「アグリフード EXPO 東京2019」

開催場所 東京ビックサイト

開催期間 令和元年8月21日～8月22日

「スーパーマーケット トレードショー」

開催場所 幕張メッセ

開催期間 令和2年2月12日～2月14日

・卸売実績

取引客先 延べ 109件

卸売額 18,691千円

イ 越境ECオンラインショップ運営事業

県が、インターネット通信サイトを活用して構築した海外向けオンラインショップ「FukushimaPrime（ふくしまプライム）」の年間を通じた商品の追加入れ替え、代金決済などの運営を行い、県産品の海外への情報発信、販路開拓を図った。

※「FukushimaPrime（ふくしまプライム）」では、「eBay（イーベイ）」「ippin mall（イッピン モール）」の2つのショップを展開している。

・「eBay」

取扱商品 加工食品、工芸品等

出展者 28事業者 51商品

販売実績 9商品

・「ippin mall」

取扱商品 清酒・焼酎等

出展者 17蔵元 33商品

販売実績 53商品

ウ 県産品復興支援事業（原子力災害対応雇用支援事業）

原子力災害の影響により失われた県産品の販路回復と販路拡大を図るため、事業者向けのセミナー等を実施した。

・「商品の発送梱包研修」

開催日 令和元年 7月 9日

場 所 ビッグパレットふくしま

参加者 47名

・「軽減税率対応説明会」

開催日 令和元年 8月28日

場 所 コラッセふくしま

参加者 39名

エ 県産品カタログ活用事業

双葉町において、町民の生活再建等を支援することを目的に実施する事業と連携し、全世帯に配布した協会作成の贈答用カタログにより県産品の通信販売を行うとともに、福島県観光物産館、日本橋ふくしま館においても本カタログによる県産品の通信販売を

行った。

・双葉町	1,621件	7,768千円
・福島県観光物産館	1,407件	7,885千円
・日本橋ふくしま館	439件	2,136千円

[県産品カタログを利用した通信販売]

・電気事業連合会	451件	3,027千円(桃の販売)
	435件	3,901千円(カタログ販売)
・IBEXエアラインズ	7件	34千円(機内設置)

### (3) 施設管理運営事業

#### ① 浄土平レストハウス管理運営事業

6月17日、噴火警戒レベル1への引き下げにより立入規制が解除になったことから、残留物品等について撤去作業を行い、8月末までに完了した。

#### ② くろがね小屋運営事業

くろがね小屋の施設、設備及び備品の管理運営を適切に実施した。

県による建替えが計画されていたため令和元年度で建替え前の営業を終了する予定であったが、計画が延期となり令和2年度も営業を継続することとなったため、利用者等への周知を行った。

自主事業として現在のくろがね小屋の様子を映像で残す記録事業を実施し、春から秋の撮影を行った。引き続き令和2年度において冬季の撮影を行う。

・宿泊者数	5,236人	(前年度比96.8%)
・売上額	33,313千円	(前年度比98.5%)

#### ③ 天鏡閣・迎賓館運営事業

##### ア 天鏡閣

国指定重要文化財天鏡閣の施設、設備及び備品の管理運営を適切に実施した。

旅行商談会や教育旅行誘致キャラバンへの参加、新天皇即位記念イベント、県民の日・文化の日などに合わせたイベントの開催、ワークショップを開催した。

本館内のWi-Fi接続を完備し、SNS投稿者へ割引クーポンを配布し誘客促進を図った。

・入館料収入	7,315千円	(前年度比97.5%)
・入館者数	24,070人	(前年度比97.2%)

##### 【主な実施イベント】

- ・新天皇即位記念イベント天鏡閣と迎賓館の春まつり  
令和元年5月3日～6日 入館者990名
- ・天鏡閣 de ワークショップ  
令和元年7月13日・14日 参加者13名
- ・福島県民の日記念イベント  
令和元年8月17日・18日・21日 入館者490名

- ・天鏡閣ライトアップハロウィンナイト  
令和元年10月26日・27日 入園者26名 入館者34名
- ・天鏡閣と迎賓館で紅葉の秋を楽しむ  
令和元年11月3日 参加者35名 天鏡閣入館者233名

## イ 迎賓館

国指定重要文化財福島県迎賓館の施設、設備及び備品の管理運営を適切に実施した。通常非公開である建物内部を期間限定で特別公開し、貴重な文化財の魅力に触れる機会を提供した。

- ・迎賓館特別公開 4月27日～11月10日（120日間）  
入館者793名

## 2 天鏡閣軽食販売事業

天鏡閣の館内及び屋外売店において軽食及び地元産米粉を使用したオリジナル焼き菓子や土産品を販売し、利用者へのサービス向上に努めた。

- ・売上額 3,939千円（前年度比106.4%）

## 3 自主財源の確保と人材育成

### (1) 自主財源の確保

自主財源である会費収入の増を図るため、会員募集活動を積極的に行った。

#### 【正会員】

- ・件数：299件（前年度比20件増）
- ・金額：10,926千円（前年度比336千円増）

#### 【賛助会員】

- ・件数：6件（前年度比2件増）
- ・金額：229千円（前年度比75千円増）

### (2) 人材育成

業務知識の習得やスキルアップを図るため、各種研修等に参加した。

#### 【主な研修】

- ・（公財）ふくしま自治研修センター研修
- ・全国公益法人協会主催研修
- ・東北観光推進機構 フェニックス塾
- ・全国旅行業協会 国内旅程管理者研修
- ・県産品生産現地研修
- ・接客マナー研修
- ・電話対応研修

## IV 評議員会・理事会関係

### 1 評議員会

**(1) 平成31年度第1回評議員会（決議の省略の方法） 平成31年4月1日**

議案第1号 理事補欠選任の件

**(2) 令和元年度第2回評議員会 令和元年6月25日**

議案第1号 平成30年度決算について

議案第2号 評議員の補欠選任について

議案第3号 任期満了に伴う理事の選任について

議案第4号 任期満了に伴う監事の選任について

報告事項(1) 平成30年度事業報告について

報告事項(2) 浄土平レストハウス管理運営事業について

報告事項(3) 第2期中期事業・運営計画について

報告事項(4) 公益目的事業及び収益事業の変更について

報告事項(5) 平成31年度事業計画・収支予算について

### 2 理事会

**(1) 平成31年度第1回理事会（決議の省略の方法） 平成31年4月1日**

議案第1号 常務理事選定の件

議案第2号 事務局長選任の件

**(2) 令和元年度第2回理事会 令和元年6月10日**

議案第1号 平成30年度事業報告について

議案第2号 平成30年度決算について

議案第3号 令和元年度第2回評議員会の招集について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況報告について

**(3) 令和元年度第3回理事会（決議の省略の方法） 令和元年6月25日**

議案第1号 理事長選定の件

議案第2号 副理事長選定の件

議案第3号 常務理事選定の件

**(4) 令和元年度第4回理事会 令和元年11月20日**

議案第1号 令和元年度事業計画の変更について

議案第2号 令和元年度収支予算の変更について

報告事項(1) 令和元年度事業実施状況について

報告事項(2) 業務執行理事の職務執行状況報告について

報告事項(3) 浄土平レストハウス運営事業について

報告事項(4) 収益事業の累積赤字への対応等について

報告事項(5) 評議員会での提案内容及び対応等について

**(5) 令和元年度第5回理事会 令和2年3月25日**

議案第1号 令和元年度収支予算の補正について

議案第2号 令和2年度事業計画について

議案第3号	令和2年度収支予算について
議案第4号	特定費用準備資金の変更について
議案第5号	令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて
議案第6号	令和2年度役員報酬について
議案第7号	令和2年度第1回評議員会の招集について
報告事項(1)	業務執行理事の職務執行状況報告について
報告事項(2)	各施設の売上状況等について
報告事項(3)	ふっこう割について

## V 役員等の異動

### 1 評議員の異動

令和元年6月24日	辞任	若松	佐代子
令和元年6月25日	辞任	紺野	平
令和元年6月25日	選任	渡部	正弘
令和2年3月31日	辞任	宮村	安治

### 2 理事の異動

平成31年4月1日	選任	須釜 泰一、吾妻 嘉博、吉澤 一好
令和元年6月25日	退任	橋本 正典、吉澤 一好、吉田 博之（以上、任期満了）
令和元年6月25日	選任	高荒 昌展、小口 憲太朗、須釜 泰一、吾妻 嘉博、 遠藤 淳一、安田 清敏（以上、任期満了に伴う再任） 今泉 仁寿、工藤 毅、横江 良司（以上、新任）
平成2年3月31日	辞任	須釜 泰一

### 3 監事の異動

令和元年6月25日	退任	佐藤 敦（任期満了）
令和元年6月25日	選任	藤田 哲郎（任期満了に伴う再任） 佐々木 一男（新任）

## 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書は作成しない。

# 貸借対照表（総合）

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	10,037,741	12,679,161	△ 2,641,420
普通預金	156,160,250	159,421,866	△ 3,261,616
売掛金	2,815,400	7,332,247	△ 4,516,847
信販未収金	13,306,578	11,234,884	2,071,694
未収金	50,268,303	101,101,159	△ 50,832,856
商品	16,322,914	21,317,433	△ 4,994,519
食事材料	482,299	249,514	232,785
貯蔵品	204,536	512,443	△ 307,907
前払費用	6,091,952	6,057,717	34,235
貸倒引当金	△ 663,898	△ 1,196,327	532,429
流動資産合計	255,026,075	318,710,097	△ 63,684,022
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	905,656,133	915,978,225	△ 10,322,092
定期預金	10,000,000	0	10,000,000
基本財産合計	915,656,133	915,978,225	△ 322,092
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,886,194	13,394,881	9,491,313
運営強化積立預金	6,054,000	20,256,000	△ 14,202,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	94,000,000	118,000,000	△ 24,000,000
特定資産合計	122,940,194	151,650,881	△ 28,710,687
(3) その他固定資産			
車両運搬具	510,498	770,367	△ 259,869
什器備品	4,130,467	6,492,584	△ 2,362,117
ソフトウェア	882,034	1,224,834	△ 342,800
電話加入権	298,552	298,552	0
敷金	2,257,240	2,257,240	0
保証金	2,200,000	2,200,000	0
出資金	50,000	50,000	0
投資有価証券	0	10,000	△ 10,000
預託金	13,710	13,710	0
その他固定資産合計	10,342,501	13,317,287	△ 2,974,786
固定資産合計	1,048,938,828	1,080,946,393	△ 32,007,565
資産合計	1,303,964,903	1,399,656,490	△ 95,691,587
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	58,865,192	77,439,148	△ 18,573,956
未払金	0	1,445,220	△ 1,445,220
未払費用	108,926,475	167,987,163	△ 59,060,688
未払消費税等	13,095,400	14,419,400	△ 1,324,000
前受金	110,119	440,475	△ 330,356
預り金	4,660,579	8,345,029	△ 3,684,450
仮受金	20,777,257	19,791,062	986,195
未払法人税等	242,000	242,000	0
流動負債合計	206,677,022	290,109,497	△ 83,432,475
2. 固定負債			
退職給付引当金	20,819,222	13,694,909	7,124,313
固定負債合計	20,819,222	13,694,909	7,124,313
負債合計	227,496,244	303,804,406	△ 76,308,162

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	2,066,972	2,066,972	0
寄付金	917,600,000	917,600,000	0
基本財産運用益差額	△ 1,943,867	△ 1,621,775	△ 322,092
指定正味財産合計	917,723,105	918,045,197	△ 322,092
(うち基本財産への充当額)	(915,656,133)	(915,978,225)	(△322,092)
(うち特定資産への充当額)	(2,066,972)	(2,066,972)	(0)
2. 一般正味財産	158,745,554	177,806,887	△ 19,061,333
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(100,054,000)	(138,256,000)	(△38,202,000)
正味財産合計	1,076,468,659	1,095,852,084	△ 19,383,425
負債及び正味財産合計	1,303,964,903	1,399,656,490	△ 95,691,587

貸借対照表内訳表  
令和2年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業会計									収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計				小計				天鏡閣売店
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	レストハウス	くろがね小屋	天鏡閣	迎賓館					
<b>I 資産の部</b>														
<b>1. 流動資産</b>														
現金	0	4,023,599	2,240,452	0	0	0	3,528,650	202,040	0	9,994,741	43,000	0	0	10,037,741
普通預金	8,615,447	59,764,776	54,909,393	23,893,373	350,932	751,128	0	1,191,782	0	149,476,831	692,868	5,990,551	0	156,160,250
売掛金	0	2,090,496	430,031	0	0	0	274,000	16,280	0	2,810,807	4,593	0	0	2,815,400
信販未収金	0	8,418,928	4,887,650	0	0	0	0	0	0	13,306,578	0	0	0	13,306,578
未収金	43,827,136	4,882,327	151,247	815,958	536,245	0	55,390	0	0	50,268,303	0	0	0	50,268,303
商品	0	7,653,162	6,539,496	0	0	0	1,502,312	0	0	15,694,970	627,944	0	0	16,322,914
食事材料	0	0	0	0	0	0	482,299	0	0	482,299	0	0	0	482,299
貯蔵品	0	0	0	0	0	0	176,722	12,665	0	189,387	15,149	0	0	204,536
前払費用	76,760	0	5,481,003	244,139	8,900	0	73,900	15,850	0	5,900,552	0	191,400	0	6,091,952
貸倒引当金	△ 438,271	△ 153,917	△ 54,689	△ 8,159	△ 5,362	0	△ 3,293	△ 162	0	△ 663,853	△ 45	0	0	△ 663,898
他会計貸付金	14,912,587	0	2,971,615	53,858,723	0	0	0	74,587	2,138,026	73,955,538	0	12,049,634	△ 86,005,172	0
流動資産合計	66,993,659	86,679,371	77,556,198	78,804,034	890,715	751,128	6,089,980	1,513,042	2,138,026	321,416,153	1,383,509	18,231,585	△ 86,005,172	255,026,075
<b>2. 固定資産</b>														
<b>(1) 基本財産</b>														
投資有価証券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	905,656,133	0	905,656,133
定期預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000,000	0	10,000,000
基本財産合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	915,656,133	0	915,656,133
<b>(2) 特定資産</b>														
退職給付引当資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,886,194	0	22,886,194
運営強化積立預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,054,000	0	6,054,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	0	0	94,000,000	0	0	0	0	0	0	94,000,000	0	0	0	94,000,000
特定資産合計	0	0	94,000,000	0	0	0	0	0	0	94,000,000	0	28,940,194	0	122,940,194
<b>(3) その他固定資産</b>														
車両運搬具	0	500,622	0	0	0	0	1	9,875	0	510,498	0	0	0	510,498
什器備品	3	4,032,125	0	1	1,039	0	36,721	0	0	4,069,889	0	60,578	0	4,130,467
ソフトウェア	0	882,034	0	0	0	0	0	0	0	882,034	0	0	0	882,034
電話加入権	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	298,552	0	298,552
敷金	17,240	0	2,240,000	0	0	0	0	0	0	2,257,240	0	0	0	2,257,240
保証金	2,200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	2,200,000	0	0	0	2,200,000
出資金	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	0	50,000
預託金	0	10,360	0	0	0	0	3,350	0	0	13,710	0	0	0	13,710
その他固定資産合計	2,267,243	5,425,141	2,240,000	1	1,039	0	40,072	9,875	0	9,983,371	0	359,130	0	10,342,501
固定資産合計	2,267,243	5,425,141	96,240,000	1	1,039	0	40,072	9,875	0	103,983,371	0	944,955,457	0	1,048,938,828
資産合計	69,260,902	92,104,512	173,796,198	78,804,035	891,754	751,128	6,130,052	1,522,917	2,138,026	425,399,524	1,383,509	963,187,042	△ 86,005,172	1,303,964,903
<b>II 負債の部</b>														
<b>1. 流動負債</b>														
買掛金	0	40,720,078	18,083,976	0	0	0	0	0	0	58,804,054	61,138	0	0	58,865,192
未払費用	80,974,155	12,703,786	8,873,965	507,480	1,186,801	0	880,206	913,843	2,094,908	108,135,144	1,177	790,154	0	108,926,475
未払消費税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,095,400	0	13,095,400
前受金	0	0	0	0	0	0	0	110,119	0	110,119	0	0	0	110,119
預り金	1,247,083	737,277	904,085	121,385	501,952	0	279,215	133,675	43,118	3,967,790	0	692,789	0	4,660,579
仮受金	0	605,116	383,054	19,785,944	3,143	0	0	0	0	20,777,257	0	0	0	20,777,257
未払法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242,000	0	242,000
他会計借入金	0	17,885,717	0	0	30,508,264	751,128	4,835,257	0	0	53,980,366	32,024,806	0	△ 86,005,172	0
流動負債合計	82,221,238	72,651,974	28,245,080	20,414,809	32,200,160	751,128	5,994,678	1,157,637	2,138,026	245,774,730	32,087,121	14,820,343	△ 86,005,172	206,677,022
<b>2. 固定負債</b>														
退職給付引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,819,222	0	20,819,222
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,819,222	0	20,819,222
負債合計	82,221,238	72,651,974	28,245,080	20,414,809	32,200,160	751,128	5,994,678	1,157,637	2,138,026	245,774,730	32,087,121	35,639,565	△ 86,005,172	227,496,244
<b>III 正味財産の部</b>														
<b>1. 指定正味財産</b>														
地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,066,972	0	2,066,972
寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	0	917,600,000
基本財産運用益差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 1,943,867	0	△ 1,943,867
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,723,105	0	917,723,105
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(915,656,133)	(0)	(915,656,133)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2,066,972)	(0)	(2,066,972)
<b>2. 一般正味財産</b>	△ 12,960,336	19,452,538	145,551,118	58,389,226	△ 31,308,406	0	135,374	365,280	0	179,624,794	△ 30,703,612	9,824,372	0	158,745,554
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(94,000,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(94,000,000)	(0)	(6,054,000)	(0)	(100,054,000)
正味財産合計	△ 12,960,336	19,452,538	145,551,118	58,389,226	△ 31,308,406	0	135,374	365,280	0	179,624,794	△ 30,703,612	927,547,477	0	1,076,468,659
負債及び正味財産合計	69,260,902	92,104,512	173,796,198	78,804,035	891,754	751,128	6,130,052	1,522,917	2,138,026	425,399,524	1,383,509	963,187,042	△ 86,005,172	1,303,964,903

## 正味財産増減計算書（総合）

平成31年 4月 1日 から 令和 2年 3月31日 まで

（単位：円）

科目	当 期	前 期	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	11,151,600	11,151,600	0
基本財産運用益計	11,151,600	11,151,600	0
特定資産運用益			
特定資産受取利息	17,556	8,713	8,843
特定資産運用益計	17,556	8,713	8,843
受取会費			
正会員受取会費	10,779,000	10,245,000	534,000
賛助会員会費	177,000	154,000	23,000
受取会費計	10,956,000	10,399,000	557,000
事業収益			
受取受託料収入	685,884,376	542,310,361	143,574,015
受取物産品売上高	1,072,471,318	1,001,649,203	70,822,115
受取手数料収入	17,627,544	15,929,510	1,698,034
負担金収入	2,073,586	4,321,296	△ 2,247,710
使用料収入	27,484,789	27,767,776	△ 282,987
食事料収入	8,691,440	41,546,257	△ 32,854,817
旅行売上高	24,940,914	33,946,000	△ 9,005,086
受取雑収入	2,222,200	1,867,960	354,240
値引・戻り高	8,896,756	7,697,944	1,198,812
事業収益計	1,832,499,411	1,661,640,419	170,858,992
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	80,957,974	100,105,000	△ 19,147,026
受取補助金等計	80,957,974	100,105,000	△ 19,147,026
受取寄付金			
受取寄付金	10,000	0	10,000
受取寄付金計	10,000	0	10,000
雑収益			
受取利息	1,182	1,575	△ 393
その他雑収益	644,111	954,989	△ 310,878
雑収益計	645,293	956,564	△ 311,271
経常収益計	1,936,237,834	1,784,261,296	151,976,538
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	20,099,824	20,155,089	△ 55,265
物産品仕入高	830,672,802	771,873,366	58,799,436
物産品廃棄損等	6,957,765	6,607,318	350,447
食事材料仕入高	3,110,035	16,514,416	△ 13,404,381
旅行仕入高	36,377,268	43,220,032	△ 6,842,764
期末たな卸高	16,805,213	21,566,947	△ 4,761,734
給料手当	244,754,547	283,084,902	△ 38,330,355
諸謝金	7,269,468	9,072,625	△ 1,803,157
賃金	77,563,663	43,392,413	34,171,250
退職給付費用	0	1,445,220	△ 1,445,220
福利厚生費	52,589,942	53,930,496	△ 1,340,554
退職金共済掛金	3,042,751	3,041,926	825
旅費交通費	17,176,492	22,052,301	△ 4,875,809
通信運搬費	5,158,921	5,513,373	△ 354,452
減価償却費	2,962,125	4,417,707	△ 1,455,582

(単位：円)

科目	当 期	前 期	増 減
消耗品費	17,365,804	15,765,466	1,600,338
修繕費	4,737,023	4,399,046	337,977
印刷製本費	21,029,276	28,449,522	△ 7,420,246
燃料費	2,189,095	8,235,362	△ 6,046,267
光熱水料費	17,856,965	22,081,401	△ 4,224,436
賃借料	85,430,472	85,443,073	△ 12,601
支払手数料	14,014,050	11,886,480	2,127,570
広告宣伝費	30,900,300	39,149,251	△ 8,248,951
租税公課	927,167	1,271,290	△ 344,123
支払負担金	10,563,304	13,824,492	△ 3,261,188
支払助成金	341,792,767	178,004,273	163,788,494
支払寄付金	30,000	40,000	△ 10,000
委託費	68,311,129	104,278,328	△ 35,967,199
保険料	2,038,408	2,228,411	△ 190,003
受託設備費	259,000	625,000	△ 366,000
店内装飾費	0	18,496	△ 18,496
包装資材費	10,188,250	8,441,815	1,746,435
交際費	575,512	516,750	58,762
会議費	284,012	143,787	140,225
食糧費	210,162	631,342	△ 421,180
運賃	4,135,073	4,556,111	△ 421,038
従業員食事材料費	139,707	152,640	△ 12,933
研修費	1,592,807	0	1,592,807
雑損失	48,252	130,009	△ 81,757
貸倒引当金繰入	663,898	1,196,227	△ 532,329
雑費	542,023	1,164,869	△ 622,846
事業費計	1,926,754,846	1,795,387,678	131,367,168
管理費			
役員報酬	12,164,925	12,535,222	△ 370,297
給料手当	3,363,421	5,672,384	△ 2,308,963
福利厚生費	1,039,901	1,483,464	△ 443,563
退職金共済掛金	148,589	180,814	△ 32,225
会議費	0	102,775	△ 102,775
交際費	11,667	41,840	△ 30,173
旅費交通費	357,725	342,635	15,090
通信運搬費	106,630	199,459	△ 92,829
減価償却費	2,661	3,542	△ 881
消耗品費	101,385	220,638	△ 119,253
修繕費	0	17,281	△ 17,281
印刷製本費	25,213	29,460	△ 4,247
燃料費	32,198	42,876	△ 10,678
光熱水料費	29,849	116,509	△ 86,660
賃借料	138,073	852,617	△ 714,544
広告宣伝費	18,584	3,032	15,552
租税公課	343,216	90,364	252,852
支払負担金	6,793	66,511	△ 59,718
支払寄付金	20,000	20,000	0
支払手数料	12,316	32,959	△ 20,643
運賃	6,370	5,376	994
研修費	260,737	0	260,737
食糧費	0	4,722	△ 4,722
委託費	3,395	5,420	△ 2,025
貸倒引当金繰入	0	100	△ 100
管理費計	18,193,648	22,070,000	△ 3,876,352
経常費用計	1,944,948,494	1,817,457,678	127,490,816
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,710,660	△ 33,196,382	24,485,722
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,710,660	△ 33,196,382	24,485,722

(単位：円)

科目	当 期	前 期	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益			
固定資産売却益	0	13,441	△ 13,441
固定資産売却益計	0	13,441	△ 13,441
その他の経常外収益			
貸倒引当金戻入	1,196,327	1,114,029	82,298
過年度損益修正益	530,000	0	530,000
その他の経常外収益計	1,726,327	1,114,029	612,298
経常外収益計	1,726,327	1,127,470	598,857
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
固定資産除却損	0	2,081,520	△ 2,081,520
固定資産除却損計	0	2,081,520	△ 2,081,520
その他の経常外費用			
退職給付引当金繰入額	11,835,000	0	11,835,000
その他の経常外費用計	11,835,000	0	11,835,000
経常外費用計	11,835,000	2,081,520	9,753,480
当期経常外増減額	△ 10,108,673	△ 954,050	△ 9,154,623
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 18,819,333	△ 34,150,432	15,331,099
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 18,819,333	△ 34,150,432	15,331,099
法人税、住民税及び事業税	242,000	242,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 19,061,333	△ 34,392,432	15,331,099
一般正味財産期首残高	177,806,887	212,199,319	△ 34,392,432
一般正味財産期末残高	158,745,554	177,806,887	△ 19,061,333
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	10,829,508	10,828,785	723
基本財産運用益計	10,829,508	10,828,785	723
特定資産運用益			
特定資産受取利息	206	8,713	△ 8,507
特定資産運用益計	206	8,713	△ 8,507
一般正味財産への振替額	11,151,806	11,160,313	△ 8,507
当期指定正味財産増減額	△ 322,092	△ 322,815	723
指定正味財産期首残高	918,045,197	918,368,012	△ 322,815
指定正味財産期末残高	917,723,105	918,045,197	△ 322,092
III 正味財産期末残高	1,076,468,659	1,095,852,084	△ 19,383,425

正味財産増減計算書内訳表  
平成31年 4月 1日 から 令和 2年 3月31日 まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計									収益事業会計	法人会計	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計				小計			天鏡閣売店
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	レストハウス	くろがね小屋	天鏡閣	迎賓館				
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
基本財産運用益													
基本財産受取利息	2,787,900	0	0	0	2,787,900	0	0	0	0	5,575,800	0	5,575,800	11,151,600
基本財産運用益計	2,787,900	0	0	0	2,787,900	0	0	0	0	5,575,800	0	5,575,800	11,151,600
特定資産運用益													
特定資産受取利息	0	0	8,911	0	0	0	0	0	0	8,911	0	8,645	17,556
特定資産運用益計	0	0	8,911	0	0	0	0	0	0	8,911	0	8,645	17,556
受取会費													
正会員受取会費	3,248,000	0	0	1,600,000	600,000	0	20,000	10,000	0	5,478,000	0	5,301,000	10,779,000
賛助会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177,000	177,000
受取会費計	3,248,000	0	0	1,600,000	600,000	0	20,000	10,000	0	5,478,000	0	5,478,000	10,956,000
事業収益													
受取受託料収入	525,740,377	26,390,001	91,093,707	190,276	25,583,205	0	0	11,507,338	5,379,472	685,884,376	0	0	685,884,376
受取物産品売上高	0	660,273,912	404,284,541	0	0	0	4,396,354	0	0	1,068,954,807	3,516,511	0	1,072,471,318
受取手数料収入	1,383,709	124,255	110,719	14,615,200	1,393,661	0	0	0	0	17,627,544	0	0	17,627,544
負担金収入	0	0	40,000	2,033,586	0	0	0	0	0	2,073,586	0	0	2,073,586
使用料収入	0	0	0	0	0	0	20,169,338	7,315,451	0	27,484,789	0	0	27,484,789
食料収入	0	0	0	0	0	0	8,691,440	0	0	8,691,440	0	0	8,691,440
旅行売上高	24,940,914	0	0	0	0	0	0	0	0	24,940,914	0	0	24,940,914
受取雑収入	0	1,445,967	293,239	0	3,046	0	56,137	987	0	1,799,376	422,824	0	2,222,200
値引・戻り高	0	5,626,333	3,270,423	0	0	0	0	0	0	8,896,756	0	0	8,896,756
事業収益計	552,065,000	682,607,802	492,551,783	16,839,062	26,979,912	0	33,313,269	18,823,776	5,379,472	1,828,560,076	3,939,335	0	1,832,499,411
受取補助金等													
受取地方公共団体補助金	51,382,113	74,633	57,952	22,960	11,426,451	0	32,880	23,289	3,380,235	66,400,513	0	14,557,461	80,957,974
受取補助金等計	51,382,113	74,633	57,952	22,960	11,426,451	0	32,880	23,289	3,380,235	66,400,513	0	14,557,461	80,957,974
受取寄付金													
受取寄付金	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	0	0	10,000
受取寄付金計	0	0	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	0	0	10,000
雑収益													
受取利息	48	287	776	26	0	19	3	9	0	1,168	5	9	1,182
その他雑収益	112,345	5,909	2,759	0	9,259	0	139,707	330,356	0	600,333	0	43,776	644,111
雑収益計	112,393	6,196	3,535	26	9,259	19	139,710	330,365	0	601,505	5	43,785	645,293
経常収益計	609,595,406	682,688,631	492,632,181	18,462,048	41,803,522	19	33,505,859	19,187,430	8,759,707	1,906,634,803	3,939,340	25,663,691	1,936,237,834
(2) 経常費用													
事業費													
期首たな卸高	0	12,723,650	6,462,033	0	0	0	0	0	0	19,185,683	914,141	0	20,099,824
物産品仕入高	0	512,105,442	312,605,706	0	0	0	3,774,203	0	0	828,485,351	2,187,451	0	830,672,802
物産品廃棄損等	0	1,998,978	4,935,833	0	0	0	5,150	0	0	6,939,961	17,804	0	6,957,765
食料材料仕入高	0	0	0	0	0	0	3,110,035	0	0	3,110,035	0	0	3,110,035
旅行仕入高	36,377,268	0	0	0	0	0	0	0	0	36,377,268	0	0	36,377,268
期末たな卸高	0	7,653,162	6,539,496	0	0	0	1,984,611	0	0	16,177,269	627,944	0	16,805,213
給料手当	86,591,508	42,086,104	50,327,899	7,827,056	28,036,314	0	17,961,588	9,428,573	2,495,505	244,754,547	0	0	244,754,547
諸謝金	6,520,505	16,000	102,682	195,000	0	0	0	352,281	83,000	7,269,468	0	0	7,269,468
賃金	0	32,635,586	36,384,387	2,768,537	0	0	2,308,035	1,867,662	807,840	76,772,047	791,616	0	77,563,663
福利厚生費	14,935,257	11,945,677	14,771,846	1,724,321	4,647,218	0	2,290,413	1,921,623	250,055	52,486,410	103,532	0	52,589,942
退職金共済掛金	714,071	785,411	87,192	188,730	684,269	0	370,739	212,339	0	3,042,751	0	0	3,042,751
旅費交通費	10,522,717	426,208	1,658,853	2,128,075	1,984,321	18,542	138,005	299,771	0	17,176,492	0	0	17,176,492
通信運搬費	1,246,169	1,294,011	894,251	228,055	271,696	0	908,294	284,588	31,857	5,158,921	0	0	5,158,921
減価償却費	2,690	2,880,893	1,066	423	29,143	0	37,547	10,363	0	2,962,125	0	0	2,962,125
消耗品費	6,012,884	4,722,924	3,091,129	151,262	1,597,989	0	754,311	595,076	158,509	17,084,084	281,720	0	17,365,804
修繕費	129,737	1,585,549	1,524,300	650,000	15,500	0	197,320	210,260	424,357	4,737,023	0	0	4,737,023
印刷製本費	17,008,800	1,624,639	1,391,362	23,333	123,640	0	141,957	547,545	168,000	21,029,276	0	0	21,029,276
燃料費	514,151	226,392	1,842	72,280	32,730	854	1,039,671	278,236	0	2,166,156	22,939	0	2,189,095
光熱水料費	523,886	7,459,137	7,506,886	6,363	10,216	0	6,787	1,631,191	712,499	17,856,965	0	0	17,856,965
賃借料	11,477,424	10,643,828	62,016,639	92,660	516,685	39,200	98,846	545,190	0	85,430,472	0	0	85,430,472
支払手数料	2,308,282	5,233,679	3,397,135	77,749	159,394	2,088,600	181,955	453,191	5,600	13,905,585	108,465	0	14,014,050
広告宣伝費	10,056,707	17,145,959	1,823,965	937,152	437,423	0	299,617	199,477	0	30,900,300	0	0	30,900,300
租税公課	465,686	184,040	73,450	3,100	117,787	27,654	15,450	17,800	11,000	915,967	11,200	0	927,167
支払負担金	6,345,682	2,119,109	387,645	801,834	290,649	0	491,545	126,840	0	10,563,304	0	0	10,563,304
支払助成金	340,157,475	0	1,550,888	84,404	0	0	0	0	0	341,792,767	0	0	341,792,767
支払寄付金	0	30,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000	0	0	30,000
委託費	47,109,071	6,310,467	7,448,804	64,288	467,179	386,200	964,236	1,949,399	3,611,485	68,311,129	0	0	68,311,129
保険料	1,334,998	364,450	136,490	2,000	0	0	85,600	109,870	0	2,033,408	5,000	0	2,038,408
受託設備費	0	0	259,000	0	0	0	0	0	0	259,000	0	0	259,000
包装資材費	0	7,208,562	2,955,900	0	0	0	1,544	0	0	10,166,006	22,244	0	10,188,250
交際費	356,030	92,783	26,885	44,216	23,395	5,000	14,007	13,196	0	575,512	0	0	575,512
会議費	231,904	0	0	52,108	0	0	0	0	0	284,012	0	0	284,012
食糧費	84,185	0	0	74,785	17,909	0	0	33,283	0	210,162	0	0	210,162
運賃	2,613,106	748,827	411,101	180,996	161,966	0	3,164	11,897	0	4,131,057	4,016	0	4,135,073
従業員食料材料費	0	0	0	0	0	0	139,707	0	0	139,707	0	0	139,707
研修費	398,252	456,431	618,005	7,722	90,505	0	12,077	9,815	0	1,592,807	0	0	1,592,807
雑損失	0	222	48,030	0	0	0	0	0	0	48,252	0	0	48,252
貸倒引当金繰入	438,271	153,917	54,689	8,159	5,362	0	3,293	162	0	663,853	45	0	663,898
雑費	141,387	91,851	178,037	0	130,748	0	0	0	0	542,023	0	0	542,023
事業費計	604,618,103	677,647,564	516,594,434	18,394,608	39,852,038	2,566,050	33,370,485	21,109,628	8,759,707	1,922,912,617	3,842,229	0	1,926,754,846

科目	公益目的事業会計										収益事業会計	法人会計	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計				小計	天鏡閣売店			
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	レストハウス	くろがね小屋	天鏡閣	迎賓館					
管理費														
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,164,925	12,164,925
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,363,421	3,363,421
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,039,901	1,039,901
退職金共済掛金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	148,589	148,589
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,667	11,667
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	357,725	357,725
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	106,630	106,630
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,661	2,661
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101,385	101,385
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,213	25,213
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,198	32,198
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29,849	29,849
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138,073	138,073
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,584	18,584
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	343,216	343,216
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,793	6,793
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,316	12,316
運賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,370	6,370
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	260,737	260,737
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,395	3,395
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,193,648	18,193,648
経常費用計	604,618,103	677,647,564	516,594,434	18,394,608	39,852,038	2,566,050	33,370,485	21,109,628	8,759,707	1,922,912,617	3,842,229	18,193,648	1,944,948,494	
評価損益等調整前当期経常増減額	4,977,303	5,041,067	△ 23,962,253	67,440	1,951,484	△ 2,566,031	135,374	△ 1,922,198	0	△ 16,277,814	97,111	7,470,043	△ 8,710,660	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	4,977,303	5,041,067	△ 23,962,253	67,440	1,951,484	△ 2,566,031	135,374	△ 1,922,198	0	△ 16,277,814	97,111	7,470,043	△ 8,710,660	
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
その他の経常外収益														
貸倒引当金戻入	924,306	130,613	79,881	22,002	308	0	0	25,832	0	1,182,942	13,285	100	1,196,327	
過年度損益修正益	530,000	0	0	0	0	0	0	0	0	530,000	0	0	530,000	
その他の経常外収益計	1,454,306	130,613	79,881	22,002	308	0	0	25,832	0	1,712,942	13,285	100	1,726,327	
経常外収益計	1,454,306	130,613	79,881	22,002	308	0	0	25,832	0	1,712,942	13,285	100	1,726,327	
(2) 経常外費用														
その他の経常外費用														
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,835,000	11,835,000	
その他の経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,835,000	11,835,000	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,835,000	11,835,000	
当期経常外増減額	1,454,306	130,613	79,881	22,002	308	0	0	25,832	0	1,712,942	13,285	△ 11,834,900	△ 10,108,673	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	6,431,609	5,171,680	△ 23,882,372	89,442	1,951,792	△ 2,566,031	135,374	△ 1,896,366	0	△ 14,564,872	110,396	△ 4,364,857	△ 18,819,333	
他会計振替額	△ 2,566,031	0	0	0	0	2,566,031	0	37,064	0	37,064	△ 37,064	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	3,865,578	5,171,680	△ 23,882,372	89,442	1,951,792	0	135,374	△ 1,859,302	0	△ 14,527,808	73,332	△ 4,364,857	△ 18,819,333	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242,000	242,000	
当期一般正味財産増減額	3,865,578	5,171,680	△ 23,882,372	89,442	1,951,792	0	135,374	△ 1,859,302	0	△ 14,527,808	73,332	△ 4,606,857	△ 19,061,333	
一般正味財産期首残高	△ 16,825,914	14,280,858	169,433,490	58,299,784	△ 33,260,198	0	0	2,224,582	0	194,152,602	△ 30,776,944	14,431,229	177,806,887	
一般正味財産期末残高	△ 12,960,336	19,452,538	145,551,118	58,389,226	△ 31,308,406	0	135,374	365,280	0	179,624,794	△ 30,703,612	9,824,372	158,745,554	
II 指定正味財産増減の部														
基本財産運用益														
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,829,508	10,829,508	
基本財産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,829,508	10,829,508	
特定資産運用益														
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206	206	
特定資産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206	206	
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,151,806	11,151,806	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 322,092	△ 322,092	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	918,045,197	918,045,197	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,723,105	917,723,105	
III 正味財産期末残高	△ 12,960,336	19,452,538	145,551,118	58,389,226	△ 31,308,406	0	135,374	365,280	0	179,624,794	△ 30,703,612	927,547,477	1,076,468,659	

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

当該事業年度末日において、継続企業の前提に関する疑義は存在しない。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産

法人税法の規定に基づく定率法または旧定率法によっている。

ただし、平成19年4月1日以降に取得した建物については定額法によっている。

##### ②無形固定資産

定額法（残価0円）によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

##### ①貸倒引当金

法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上している。

##### ②退職給与引当金

平成18年4月1日より職員就業規則を改定し、独立行政法人勤労者退職金共済機構の退職金共済制度に加入している。

改定前の規則に基づく退職金については、自己都合による要支給額を引当金計上している。

#### (5) リース資産

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

#### (6) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用している。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
投資有価証券	915,978,225	0	10,322,092	905,656,133
定期預金	0	10,000,000	0	10,000,000
小計	915,978,225	10,000,000	10,322,092	915,656,133
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	13,394,881	14,202,000	4,710,687	22,886,194
運営強化積立預金	20,256,000	0	14,202,000	6,054,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	118,000,000	6,000,000	30,000,000	94,000,000
小計	151,650,881	20,202,000	48,912,687	122,940,194
合計	1,067,629,106	30,202,000	59,234,779	1,038,596,327

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
<b>基本財産</b>				
投資有価証券	905,656,133	(905,656,133)	(0)	—
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
小計	915,656,133	(915,656,133)	(0)	—
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	22,886,194	(2,066,972)	(0)	(20,819,222)
運営強化積立預金	6,054,000	(0)	(6,054,000)	—
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	94,000,000	(0)	(94,000,000)	—
小計	122,940,194	(2,066,972)	(100,054,000)	(20,819,222)
合計	1,038,596,327	(917,723,105)	(100,054,000)	(20,819,222)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

勘定科目名	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	530,000	530,000	0
車両運搬具	3,090,215	2,579,717	510,498
什器備品	18,850,963	14,720,496	4,130,467
ソフトウェア	6,105,104	5,223,070	882,034
合計	28,576,282	23,053,283	5,522,999

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第316回利付国債	300,433,092	304,500,000	4,066,908
第317回利付国債	300,261,912	305,430,000	5,168,088
第319回利付国債	100,100,288	102,120,000	2,019,712
第120回利付国債	204,860,841	240,608,400	35,747,559
合計	905,656,133	952,658,400	47,002,267

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
平成31年度(公財)事業等補助事業	福島県	0	47,141,000	47,141,000	0	一般正味財産
ふくしまDMO推進プロジェクト事業補助金	福島県	0	33,816,974	33,816,974	0	一般正味財産
福島県観光物産振興事業等補助金	福島県	2,066,972	0	0	2,066,972	指定正味財産
合計		2,066,972	80,957,974	80,957,974	2,066,972	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	11,151,600
特定資産受取利息	206
合計	11,151,806

9. その他

当該事業年度より、公益目的事業及び収益事業の事業区分を変更している。

これに伴い、収益事業から公益目的事業へ変更した事業の平成30年度期末棚卸高について、当該事業年度において公益目的事業の物産品仕入高及び食事材料仕入高に計上している。

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため省略。

2. 引当金の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	1,196,327	663,898	0	1,196,327	663,898
退職給付引当金	13,694,909	11,835,000	4,710,687	0	20,819,222

※ 貸倒引当金の当期減少額「その他」は、期末洗替えによる戻入額である。

財産目録  
令和2年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	10,037,741
	普通預金	東邦銀行 県庁支店 他	〃	156,160,250
	売掛金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品売上代 他	2,815,400
	信販未収金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品売上代のクレジット利用分	13,306,578
	未収金	福島県 他	県委託事業による受託料収入未収分 他	50,268,303
	商品	観光物産館 他	棚卸資産	16,322,914
	食事材料	くろがね小屋	〃	482,299
	貯蔵品	くろがね小屋 他	〃	204,536
	前払費用	日本橋ふくしま館 他	4月分家賃 他	6,091,952
	貸倒引当金	—	貸倒に備えた引当金	△ 663,898
流動資産合計				255,026,075
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金	東邦銀行 西福島支店	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	10,000,000
	投資有価証券	東邦銀行 県庁支店 他	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	905,656,133
				915,656,133
特定資産				
	退職給付引当資産	東邦銀行 西福島支店 他	職員の退職給付支出に備えた積立	22,886,194
	運営強化積立預金	東邦銀行 西福島支店	運用益を法人会計の財源として使用	6,054,000
	日本橋ふくしま館財政調整積立資金	東邦銀行 東京支店	日本橋ふくしま館の管理運営事業のための積立	94,000,000
				122,940,194
その他固定資産				
	車両運搬具	公用車 他	事業に要する車両等	510,498
	什器備品	POSターミナル 他	事業に要する備品等	4,130,467
	ソフトウェア	売掛管理システム 他	事業に要するシステム等	882,034
	電話加入権	協会事務所	電話加入権利	298,552
	敷金	都圏不動産㈱ 他	倉庫敷金等	2,257,240
	保証金	全国旅行業協会	旅行事業に係る弁済業務保証金分担金	2,200,000
	出資金	福島県旅行業協同組合	旅行事業に係る組合出資金	50,000
	預託金	自動車リサイクル促進センター	自動車リサイクル預託金	13,710
				10,342,501
固定資産合計				1,048,938,828
資産合計				1,303,964,903
(流動負債)				
	買掛金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品仕入代等	58,865,192
	未払費用	㈱福島民報社 他	公益事業等に係る支払経費等	108,926,475
	未払消費税等	—	決算において確定した未払消費税	13,095,400
	前受金	天鏡閣	原子力損害賠償金	110,119
	預り金	源泉所得税 他	源泉所得税等の預り金	4,660,579
	仮受金	物産展等出展業者 他	物産展等出展業者未精算売上金 他	20,777,257
	未払法人税等	—	決算において確定した未払法人税	242,000
流動負債合計				206,677,022
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員の退職金に係る引当金	20,819,222
固定負債合計				20,819,222
負債合計				227,496,244
正味財産				1,076,468,659